

RCS 固有ゼッケンの使用について

2024.7.26.

日本学生自転車競技連盟

告知事項

- ・2024年7月 RCS 白馬ラウンドより、「RCS 固有ゼッケン」（仮称）を使用する。
- ・日本学生自転車競技連盟登録選手一人ずつに固有のゼッケン番号が振られる。
- ・この番号は、少なくとも年度内は変更されない。
- ・学連ロードレースカップシリーズ RCS については基本的にこのゼッケン番号を使用する。
- ・ゼッケンおよびフレームプレートは大会会場で出場選手に配布され、選手はそれをレース後に持ち帰り、次の大会では持参する。
- ・ゼッケンを洗濯してもよいが、文字が薄くなった場合は油性ペン等で修正しておくこと。
- ・翌年度は番号は不変、ゼッケンそのものは新品を改めて支給、の予定。
- ・使用期間中に紛失、持参忘れの場合は1セット 1,000 円で予備を支給する予定。
- ・安全ピン、タイラップ等の固定用品は選手自身で手配のこと。
- ・選手権大会、トラック大会については別途告知します。

番号の振り方に関する説明

- ・1-10、901-910 はそのラウンド開催時点の上位選手のシード番号として割り当てる。
- ・たとえば、ある大会スタート時に RCS ランキング 1 位の選手は、自分の固有番号とは別にその大会として「1」を割り当てられ、それを使用する。
- ・男子は 101 から 899 までをチーム所在地北から順にわりあてる。
- ・女子は 911 から 999 までをチーム所在地北から順にわりあてる。
- ・チーム間には若干の余裕空き番号をセットするが、それを越える部員増があった場合は飛び番となる。

背景説明

- ・以前、本連盟主催事業ではゼッケンを毎大会、回収して再利用していた。
- ・コロナ禍において、感染拡大防止の観点から、ゼッケンは大会毎の使い捨てとした。
- ・このことは、大会運営コスト・準備マンパワーの増大要因になっている。
- ・学生委員会より、ゼッケン作成・配布準備のマンパワー削減とコスト削減の観点より、選手に固有のゼッケンを使用することが提案された。
- ・今回、上記背景を勘案して固有ゼッケンの使用を（実験的に）行うものである。

以上